

ふじみ野キャンパス

卒業生「キャリアてっぺん

フォーラム」で語る

大学在学中に就職活動を頑張る、社会人としても活躍している卒業生の話聞く「キャリアてっぺんフォーラム」が、12月14日にふじみ野キャンパスで開催されました。司会進行は、てっぺんフォーラム学生実行委員の菅優貴さん（人間学部児童発達学科2年）が担当しました。

人間学部3年生を中心に、約100人以上の学生が参集した会場で、まず最初に登場したのは、製薬会社の営業として活躍中の奥山香織さん（2008年3月卒業）。当初は「フライデー」で接客していたが、月間福祉学科卒業。勤務先の愛知県名古屋市中から、接客時の声のトーンが、女性総合職のやりがいと難しさについて、パワーポイントを用いて分かりやすく説明しました。さらに、「働く軸」を持つことの大切さや、他人がやらなかったことを率先して努力する積極性についても熱

3人目は、衣料品販売の店舗責任者を任されている中村真菜さん（2009年共生社会学科卒業）。在学中は、環境教育研究センターで様々な活動を体験。当初は環境に関する仕事を志望していましたが、「環境問題に取り組んでいない会社こそ、自分で開拓できるチャンスが多い」と考えて、この業界へ志望転換。

最後に登場したのは、永年の夢を叶えた消防士の三村信一さん（2009年3月共生社会学科卒業）。予備校の短期講習を受け、公務員として、公務員試験に臨みました。「生命を守る」という究極の使命を果



の使命を果したため、辛い訓練にも耐えています。将来は「はしご車を運転したい」という希望を持ち、日々努力しています。



質問に答える（左から）三村さん、中村さん、荒井さん（2009年3月共生社会学科卒業）。予備校の短期講習を受け、公務員として、公務員試験に臨みました。「生命を守る」という究極の使命を果した充実感を滲ませました。